

[2022年4月11日]

地盤凍結工法の高度化に関する共同研究開発に着手 先端建設技術センター、ケミカルグラウト、成和リニューアルワークスの3社

一般財団法人先端建設技術センター(理事長:佐藤直良)とケミカルグラウト株式会社(社長:立和田裕一)と成和リニューアルワークス株式会社(社長:幸長茂雄)の3社は、地球環境に優しい新地盤凍結工法である ICECRETE 工法の高度化に関する研究開発を共同で実施することに合意、2022年4月4日より実証実験をスタートさせた。

【実験内容】

- ・実験用水槽内に模擬地盤を作製し、模擬地盤に埋設した凍結管及び水槽の壁面に設置した貼付凍結管により凍土を造成する。液化 CO₂ の循環方法を変えて、圧力・温度・液ガス比率のデータを収集する。
- ・凍結プラントのクーリングタワーを模擬トンネル内に設置して、凍結運転時の坑内環境のデータを収集する。
- ・実験は一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所(静岡県富士市)のヤードにて行う。

【現場見学会】

- ・今年5月末には、実験で造成した凍土を掘り起こし、その出来形観察や、実験概要を説明する現場見学会を産官学の関係者を対象に実施する予定としている。

以上